

1. **議題案名**:

日本における難民認定申請者の保護措置及び予算について

2. **議題の背景**:

難民問題は今や日本の課題になっています。

アフターコロナで海外からの入国者が増えるのと比例して難民申請をする人たちが増えており、さまざまな支援団体のもとに大勢の方が詰めかけています。

母国で困難な状況を逃れるために日本に来て所持金もなくなり、行先もなく、支援団体に相談に行っても対応のキャパを超えて断われてしまう状況が続いています。難民申請者のための公的生活支援金、いわゆる保護費は、現状では支給されるまでの期間が長く、就労もできない状態では生活費や住居費が支払えず行き場を失う人が増えています。日本国内の難民認定申請者のセーフティネットが非常に脆弱で保護費の増額は急務です。1982年7月の難民行政監察で『難民の地位に関する条約により庇護の対象とされる難民が庇護を求めてきた時点から、第三国に出国するかまたは我が国での難民認定を受けるまでの間、衣食住に欠ける等保護を必用とするものに対し、必用な援護を行うための予算措置を講ずる等援護体制を整備する必要がある』とあり、現在外務省が保護措置を実施しています。

3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**:

生活困窮が認められた難民申請者への政府による法的支援に保護費と言われるものがあり、それは生活費、住居費、そして医療費などがあります。しかし、保護費を受給できるまでに時間がかかるという理由から、最低限の生活を維持する保障がありません。2018年の難民認定制度の運用見直しにより、以前は認められていて就労も不可となり、自活に向けて一步を踏み出すこともできなくなりました。人が安心して当たり前の生活を送るために保護費の増額か申請者に収入を認めるしか最低限の生活から抜け出せないのが日本の現状です。

4. **外務省への事前質問(論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば)**:

(1) 人間の安全保障という観点で

今年開催されるグローバル難民フォーラムの議長国である日本ですが、インドナーレフュジーコストについてどのような主張を行なっていくのでしょうか？

(2) 前回の協議会にて「持ち帰り」になっていた案件に関して¹

インドナーレフュジーコストについての議論を総合外交政策局も一緒になってNGOと議論ができないかということについて、「…そういうご意見をいただいて、持ち帰って議論させていただきたい…」と

¹ 令和 5 年度(2023 年度)NGO・外務省定期協議会 「第 1 回 ODA 政策協議会」議事録、p14
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100561195.pdf>

ありましたが、その後結果はどうなりましたでしょうか？概算要求がいくらになり、前年対比がいくらになったか教えてください。

5. **議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと):**

- (1) 今年度においては補正予算で仮の住居の提供:ESFRA(難民認定申請者緊急宿泊施設)のための増額の検討ができないか？ 支援団体は今相談に来る方をお断りせざるを得ない状況が続いています。

表 難民認定申請者に対する他国の対応²

	住居	保健サービス
UK	初期の1カ月ほどは大型施設食事付、その後転宅	無償英国市民同様のアクセス可能
フランス	申請者も一時滞在先の住所を与えられる	3カ月滞在後から無償で提供
ドイツ	最長18カ月	限られたアクセスだが、予防接種や予防を目的とした健康診断は無料提供される

- (2) 来年度予算に関しては以下のご検討をお願いいたします。

- ・ 受給者数の総数増加
- ・ 申請への対応をスムーズに行うための難民事業本部の増員
- ・ 住居に入居するための資金援助
- ・ 保護費支給までの期間短縮

- (3) 昨年の入管法改正では3回以上申請を却下された人は強制送還してよいということになり、これはノン・ルフールマン原則に反するものではないのか、条約の解釈を教えてください。

- (4) 今年の世界難民フォーラムの議長国として、日本に逃れてきた人に難民認定が下りるまで最低限生活を保障する支援内容を、具体的にご提示ください。5(1)以外に、海外のほとんどの国では、16歳まで難民申請の有無にかかわらず教育を受けることができます。またノルウェーでは緊急宿泊施設に住んでいる場合は、受付センターで医療を受けられます。民間の宿泊施設に住んでいる場合は、他の国民と同様に医療サービスを受ける権利があります。

- 氏名:米良彰子
- 役職:事務局長
- 所属団体:メドウサン・デュ・モンドジャポン

以上

² AIDA (The Asylum Information Database) <https://asylumineurope.org/>